

江東未来会議
第5分科会（行財政運営・協働分野）
第1回 議事概要

日時：平成19年9月26日（水）19:55～20:50

場所：江東区教育センター1階第2研修室

参加人数：24人

1. 自己紹介

コーディネーターの田中氏より、本日の進め方について紹介を行った後、参加者より簡単な自己紹介（主に氏名と居住地区の紹介）を行った。自己紹介においては以下のような参加意向も述べられた。

- ・江東区に住んでいて、他区よりは住みやすいと思うが、川が汚い、まちなかのゴミが目につくなど、少しでもまちを良くできればと思い参加した。
- ・未来は若い人が背負って立つことになるが、そのための基礎になるものを築くのは年寄りの仕事でもあると思い応募した。特に江東区の財政に不安を感じているので、この点を追求して考えていきたいと思う。
- ・最近、江東区は施設ばかり建設している気がするので、適正な財政運営がなされるよう提案していきたいと思っている。
- ・循環する自然を大切に、江東区も自然が豊かになるようにしていきたいと思っている。

2. 今後の議論の進め方について

田中コーディネーター

- ・次回以降は当分野の将来像や、そこに向けての現状と課題認識を考えていくことになるが、議論の方法としては各人の意見を紙に書きながら議論を進めるワークショップの形式で進めていきたい。
- ・よろしければ、過去の経験から「まず将来像を描き、その将来像を実現するための課題、施策を考えていく」という流れの方がうまく議論が進むと考えているが、こうした流れで進めてよしいか。
- ・次回は議論するのに30名では多すぎるので、10人ずつ3グループに分けて、それぞれのグループで将来像を描いていきたいと思う。そしてそれぞれのグループで提案された将来像のうち、特に優先的に考える将来像について詳細に検討を進めていく。

参加者

- ・あらかじめ議論するテーマを掲げてグループ分けするのではないのか。

田中コーディネーター

- ・ 次回はテーマを掲げるところから参加者全員で考えていきたい。次回、みなさんで意見を出し合った上で、議論するテーマを選定していくことになると思う。

参加者

- ・ 将来像を検討するとしてもまず現状がわからないと意見の出しようがない気がする。次回までに議論に必要な資料は用意していただけるのか。私は現状からしっかり議論して将来像を描く流れの方がよいと思う。

田中コーディネーター

- ・ 本日提供した資料で不十分であれば、適宜必要な資料を事務局に依頼していただきたい。
- ・ 将来像を先に検討するといっても現状を踏まえないわけではない。常に両方を見据えながら議論をする訳であるが、将来像に軸をおいて議論をした方がよいアイデアが出てくると思っている。

参加者

- ・ 私も現状を知らない中で将来像を語るのは難しいと思う。本日の配付資料で提示されている全体のスケジュールに則って進めるべきではないか。他の分科会の進め方と合わせるべきである。

田中コーディネーター

- ・ 本日の配布資料にあるスケジュールはあくまで参考であり、具体的な進め方は各分科会に任されている。必ずしも統一をとって進めなければいけない訳ではない。将来像を先に検討する方法もあくまで提案であるので、本日、ここで合意が得られた方法で進めていくことになる。

参加者

- ・ とりあえずコーディネーターが提案した方法でやってみて、それでうまくいかないようであれば次回以降、進め方を変更すればよいのではないかと。とりあえず進める方向で議論したい。

参加者

- ・ 財政のことを議論していくためには、きちんと数字を押さえていかなければならない。将来像を描くといっても10年後の歳入・歳出を検討するのは難しい。現在の歳入が今後どのように動いていくのかはわからない。

参加者

- ・ 財政の将来像を描く場合、数字で描くのか、イメージで描くのかによっても議論は異なってくる。数字を追うことは難しいがイメージを描くことはできると思う。

参加者

- ・ 財政の話ばかりでているが、私は財政ではなく、協働・参画のテーマで議論していきたいと考えている。参加者の中には財政以外を議論したいと考えている者もいることを理解していただきたい。

田中コーディネーター

- ・その議論したいテーマを次回、みなさんで意見を出し合いながら決定していく。

参加者

- ・次回以降の進め方が本日の配付資料だけではみなさんイメージしにくいと思うので、ワークショップ形式での進め方を始め、今後どのような作業を行っていくのかについて説明した資料を提供していただきたい。

参加者

- ・みな発言したい思いがあるので、きちんと挙手をして意見を述べることをルールとしていただきたい。

参加者

- ・行財政運営、協働・参画など、これらの言葉の意味は幅広く、本日の議論でもみなさんの認識が異なっていることが明らかになっている。きちんと言葉の定義をしてから進めるのがよいのではないか。

田中コーディネーター

- ・そこを定義せず、自由に議論することが大事だと思う。既定のイメージにとらわれず、協働・参画について各自のイメージを出し合い、あるべき協働・参画をみなさんで議論していくことが将来像を描いていく上で重要だと思う。

3. 次回以降の開催スケジュールについて

事務局

- ・第2回の開催日については本日、決めてしまいたい。第2回の候補日についてこの場で挙手を行い、参加できる人数が最も多い日を開催日としたい。
- 日程調整の結果、第2回は10月18日(木)19:00~21:00で開催することとした。

田中コーディネーター

- ・次回出席できない方もメール・FAX等で意見を提出をすることができる。

参加者

- ・開催場所はどちらになるのか。

事務局

- ・開催の会場は、他の分科会との調整もあるので、決定後、次回の開催通知でお知らせする。可能であれば文化センターが最もよいと思っている。

参加者

- ・第3回以降は11月の開催ということであるが、そこまで先の日程はわからない。第3回の日程は第2回開催時に決めればよいのではないか。

田中コーディネーター

- ・ただし、なるべく早く日程を決めた方が参加しやすい人もいるので、この場でよりみな

さんの意向に添う形で日程調整をしたい。

参加者

- ・日程調整シートを配ったのであれば、後日このシートを元に決めればよいのではないかと。あらかじめ準備したとおりの方法で進めるべきである。

事務局

- ・なるべく参加者みなさんにとって都合のよい方法で日程調整できればと思い、シートも準備したが、挙手で第3回以降も本日決めてしまう方法がよければそれでもよいと思っている。
- ・参加者みなさんの意向で、この場で決めてしまうのがよいか、日程調整シートを元に後日、決定するのがよいのかご判断いただければと思う。
- 日程調整方法検討の結果、日程調整シートを用い、第2回開催日に第3回以降の日程を決定することとした。

参加者

- ・開催回数7回というのは既定なのか。

事務局

- ・基本的には7回を想定しているが、議論が足りないということであればなるべく柔軟に対応していきたいと考えている。

田中コーディネーター

- ・それでは本日はここまでとしたい。次回までに私から今後の議論の進め方について説明した資料を事前にご提供させていただく。

(以上)